※令和４年度以降入学生用

学校番号	411

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な表現技法を通して、造形的な視点で対象をとらえる力を養いましょう。
・作品を通して伝えたいことを明確にし、創造的に表現しましょう。
・自他の作品や美術作品に親しみ、生活を豊かにする美的感性を養いましょう。

２　学習の到達目標

・美術の基礎的な表現技法や形式を通して、造形的な要素を理解した見方や考え方ができている。
・感じ取ったことを基に主題を生成したり、意図に応じた表現を工夫したりしながら創造的に表現している。
・主体的に美的体験を重ね、美術作品のよさを味わう資質や能力を養っている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な見方・考え方を養っている。 ・美術の基礎的な表現技法や表現形式について理解している。	・感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、構想を練っている。 ・意図に応じて表現方法を工夫している。 ・自己のイメージやアイデアが伝わるような創造的な表現を行っている。	・主体的に表現活動や鑑賞活動に取り組み、美術のよさを味わっている。 ・美術や美術文化を愛好し、豊かな感性を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・「美術とは何か」を考える ・道具の確認と授業の取り組み方の説明	a:造形的なモノの見方や考え方を深めている。 c:美術を通して何を学ぶかを考えたり、社会と美術とのつながりについて考察したりしている。	ワークシート		活動の様子
	色の三要素と文字のデザイン	・明度・彩度・色相の学習 ・様々な字体と表現	a:色の三要素を理解し、色彩の基本的な技能が身についている。 b:様々な字体から目的や意図に合った字体を選び、表現することができる。 b:デザインの意図に合わせてロゴを考案できる。 c:社会の中でのデザインの目的や働きについて考えている。	振り返りシート	作品	活動の様子
	キャラクターのデザイン	・マスコットキャラクターのデザイン	a:既存のキャラクターについて造形的な視点から考察している。 b:発想や構想を練って、目的に応じたオリジナルのキャラクターを考案している。 c:自他の作品を通して、デザインのよさを味わっている。	アイデアスケッチ	作品	活動の様子
2学期	モノの見方と表現	・明暗（光と影）の表現／黒画用紙に白鉛筆で描く ・立体の見え方／遠近法で対象をとらえる ・立体表現における色彩の効果／球体に描く	a:明度・彩度・色相について、実際に絵画表現に活用できる技能として理解している。 a:遠近法を理解している。 a:色の効果について理解している。 b:明暗・彩色・遠近法を工夫して立体感のある創造的な表現に取り組んでいる。 c:美術のモノのとらえ方や表現の仕方について考えを深めている。	作品	作品	振り返りシート
	人物を描こう	・人物画の制作	a:アクリル絵の具による表現技術や基礎的な形体をとらえる技法について理解している。 b:画材の特性を活かし、対象を豊かな色彩で表現しようとしている。 c:作家作品の鑑賞を通して美術作品に親しんだり、他者の作品のよさを感じ取ったりしている。	ワークシート	作品	活動の様子

※令和４年度以降入学生用

	紙の造形	・紙の素材研究 ・立体構造の魅力の発見と表現	a:立体の造形的な要素について理解を深めている。 b:素材の特性を活かして表現の可能性を追求しようとしている。 c:社会の中のデザインについて目を向けることができる。	振り返りシート	作品	活動の様子
３学期	砂絵で描く風景	・遠近法の種類と描き方 ・砂絵の制作	a:素材の特性や砂絵の技法について理解している。 b:豊かな発想で遠近法を活かして表現している。 c:砂絵の技法の発色の良さや、他者の作品のよさを味わう態度を深めている。	ワークシート	作品	活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度